

令和3年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性								
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度	R3年度		中期 目標	予算額 （千円）		決算額 （千円）	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題						
I-2-(3)-② 技術・ 技能を 継承す る人材 の育成	1	⑧ ⑨ ⑩	明日の公共事 業を支える人 材確保・育成 事業	技術企 画課	建設業の若年就 業者の減少によ り、インフラの維 持管理に関する担 い手不足が懸念さ れるなか、建設技 術の魅力発信し、 公共事業への理 解をより深める ことで、将来にわ たる建設業の人材 確保・育成を図 る。	建設業に対する関 心度（イベント参 加者アンケートに よる）	97% (H27年 度)	目標 80 %	実績 —	達成率 —	80 %	91 %	113.8 %	80%以 上 (R1年度 以降毎 年度)	696	1,983	2,351	5,400	順調	イベント参加者アンケートの結果、回答者の約9割が建設業の仕事に興味を持ったと回答。 また、建設業の現場で活躍する若者や女性の姿を紹介するWebサイトにおいても、新たな技術者を掲載するなど、建設業の魅力を継続して発信できたことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 建設業に対する関心度が91%であったため、「順調」と判断。  【課題】 将来にわたって建設業の人材確保・育成を行うには、一過性のものでなく、継続的で地道なイメージアップの取組が必要不可欠である。	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設局の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、令和5年度も継続して実施する。		
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情 報社会 への対応	2	⑨ ⑩	公共工事関係 部署のDX推進 事業	技術企 画課	「デジタル市役 所」の実現に向け て、公共工事に関 係する部署の発注 ・契約・検査等 の様々な業務のデ ジタル化をより一 層推進する。	「公共工事関係部 署のDX推進プラン 」（公表案）の 策定	—	目標 —	実績 —	達成率 —	策定	策定済	—	—	17,000	8,939	8,900	順調	令和4年4月に「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定、公表したことから「順調」と判断。 この中で、以下の成果目標を設定した。今後はこの目標を達成するためにフォローアップを行っていく。 (1) インフラDX (i-Construction) 研修の受講者数（市内建設業及び市技術職員） 2倍 (2) 技術研修のWeb活用率 50% (3) オンライン会議の実施率 70% (4) テレワーク実施率 80%（月1回以上実施） (5) 紙の使用量 50%削減	順調	【評価理由】 令和4年4月に「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定、公表したことから「順調」と判断。  【課題】 今後は、本プランで設定した成果目標を達成するために、ICT活用工事（i-Construction）の推進など各取組を着実に実行していく必要がある。	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に掲げる成果目標を達成するため、各局が取組を確実に実施できるようにフォローアップしていく。			
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の 地域活 動への 参画促 進	3	⑩	【施策評価の み】 競争入札参加 資格業者に対 する加点制度	契約 制度 課	【施策の内容】 本市の物品等供 給契約や建設工 事における競争入 札参加資格にお いて、地元企業の 地域での社会貢 献活動（子育て 支援、男女共同 参画、障害者雇 用、環境配慮、 防災活動など） を評価し、格付 けの際に加点す ることにより、契 約制度の面から も本市重要施策 の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供 給契約入札参加 資格業者総数に 対する評価対象 事業者数の割合	27% (H28年 度)	目標 29 %	実績 32 %	達成率 110.3 %	29 %	30 %	103.4 %	29% (R4年 度)	—	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 目標を上回る達成率となっており「順調」と判断。	引き続き加点制度を実施する。	
						【施策の指標】 本市の建設工事 入札参加資格業 者総数に対する 評価対象事業者 数の割合	38% (H28年 度)	目標 44 %	実績 47 %	達成率 106.8 %	49 %	50 %	102.0 %	49% (R5年 度)											

令和3年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度	R3年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度	中期 目標	決算額 (千円)		予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業 評価		評価の理由	局施策 評価
V-3-(1)-① 都市基盤・施設の適正な整備	4	⑧	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする公共工事パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	24件 (H26年度)	目標 14 件以下	実績 19 件	14件以下 (R2年度)	905	977	897	28,400	順調	公共工事パトロール時の安全指導や、出前講演と若手職員を対象とした現場研修を積極的に行い、工事成績評定点の安全対策の点数も目標を概ね達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 公共工事パトロール時の安全指導等を積極的に行うことで、市が実施する公共工事の安全対策の強化が図られているため、「順調」と判断。  【課題】 建設工事従事者の不注意や確認不足などを原因とする公衆災害が多く発生しており、工事に従事する一人ひとりの安全意識の向上を図る必要がある。	公共工事における重大事故の発生を抑制し、市民と建設工事従事者の安全と健康を確保するため、引き続き市が実施する公共工事関係者への指導や安全研修を実施する。
VI-3-(3)-② 建設リサイクルの推進	5	⑩	【施策評価のみ】 建設リサイクルの推進	技術支援課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	99.9% (H28年度)	目標 98 %	実績 99.1 %	98 % 99.3 %	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 前年度に引き続き令和3年度も目標を達成したため。	前年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。